

○ タ イ ト ル : 十勝地域のがん患者さん支援の充実に向けたセミナー2024

## アンケート

○ 日 時 : 2024年9月24日(火)18:30~20:00

○ 会 場 : 会場とのハイブリッド形式開催

○ 対 象 : 医療・保険・福祉・介護・行政従事者、患者さんの療養支援に関わっている方

○ 参 加 費 : 無料

○ 参 加 者 数 : 106名(会場:参加者25名、見学者7名/オンライン:74名)

○ アンケート回収数 : 39件

主 催 : 帯広厚生病院、さかい総合内科クリニック、更別村国民健康保険診療所、帯広協会病院、北海道がんセンター(北海道がん診療連携協議会相談・情報部会事務局)、北海道保健福祉部、帯広市、北海道医療ソーシャルワーカー協会がん相談専門部会

共 催 : がん患者のための多職種チームケアと地域医療連携を推進するプロジェクト

後 援 : 帯広市医師会、十勝医師会、日本がんサポーターズケア学会、中外製薬株式会社

日本癌治療学会/ファイザーの医学教育助成金「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」協力のもと開催

## プログラム

司会進行:北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長 木川幸一

### あいさつ

帯広市市民福祉部地域福祉室地域福祉課長

### ②講演

- ・導入:十勝地域でがん患者さんご家族を支えるために  
帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 渡邊清高
- ・帯広厚生病院におけるがん診療と在宅医療連携  
帯広厚生病院 副院長 大野耕一
- ・在宅緩和ケア充実診療所における在宅がん診療  
さかい総合内科クリニック 院長 酒井俊
- ・在宅看取りを支える在宅医療連携  
更別村国民健康保険診療所 所長 山田康介
- ・がんの治療中から終末期までを支える在宅医療の取り組み  
帯広協会病院 腫瘍内科 主任部長 杉山絢子

### ディスカッション

・グループワーク

グループワークの進め方(渡邊清高)

②グループワーク(会場参加者限定、オンライン参加者は待機時間)

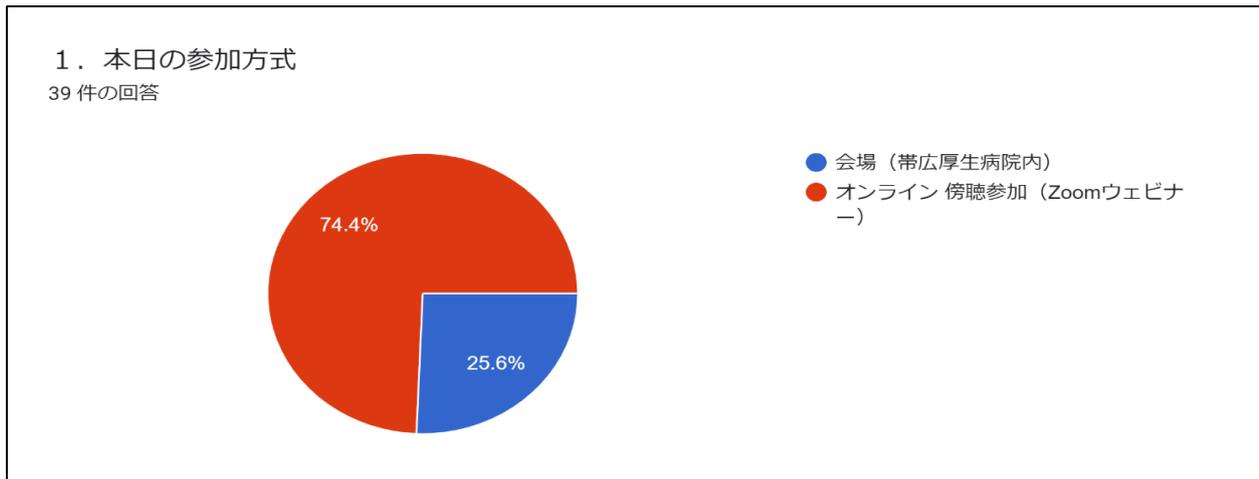
グループ発表

・QAセッションとディスカッション

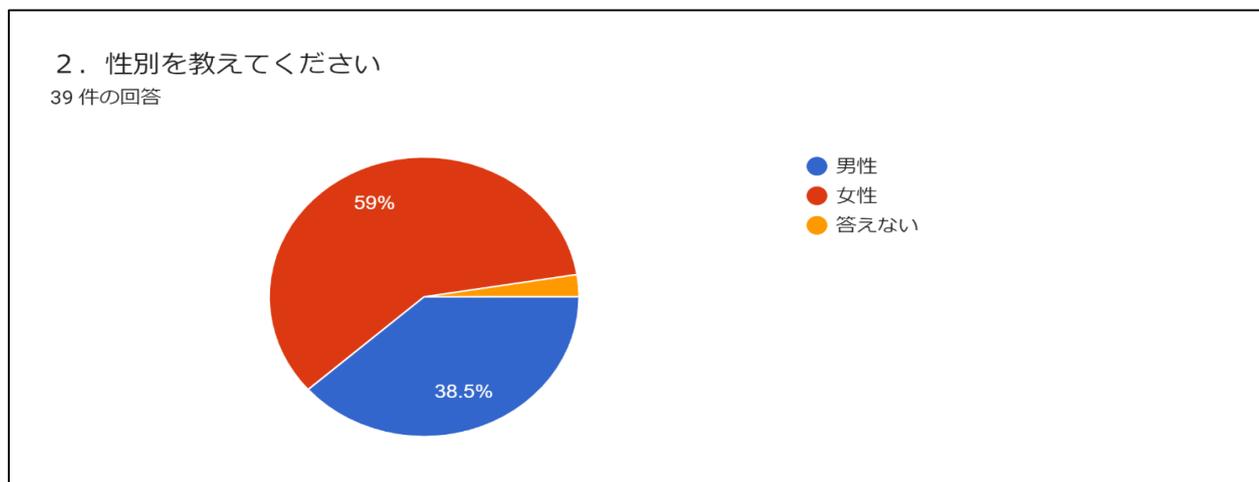
### まとめ・閉会あいさつ

帯広厚生病院 副院長 大野耕一

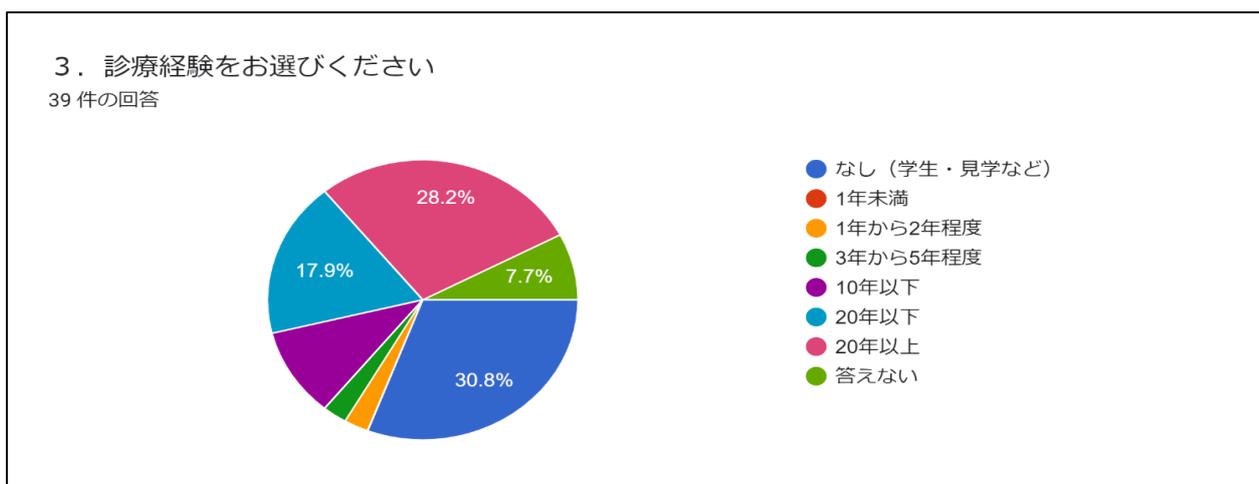
## 1. 本日の参加方式



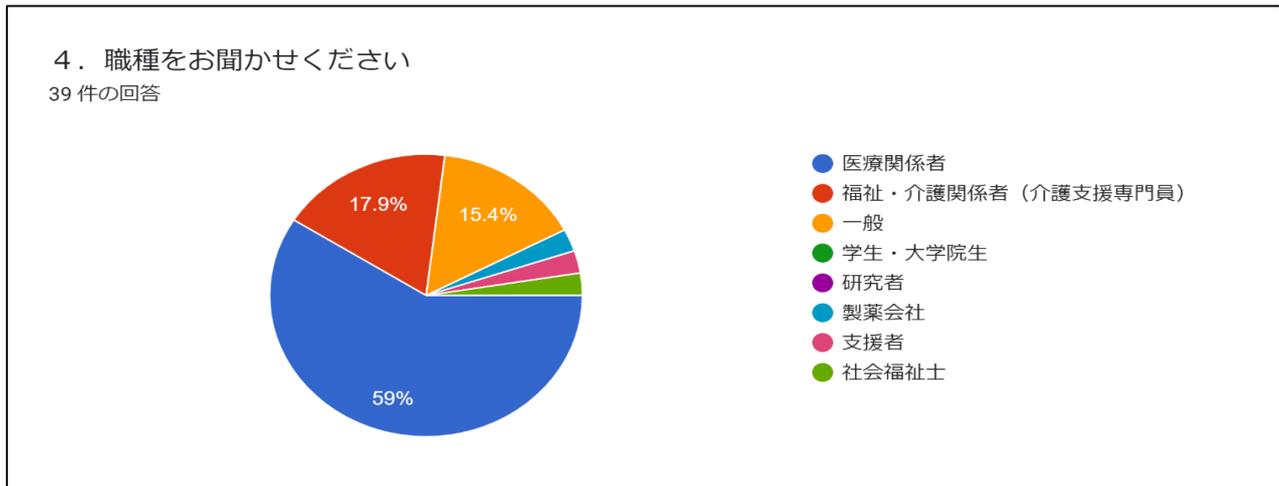
## 2 性別を教えてください



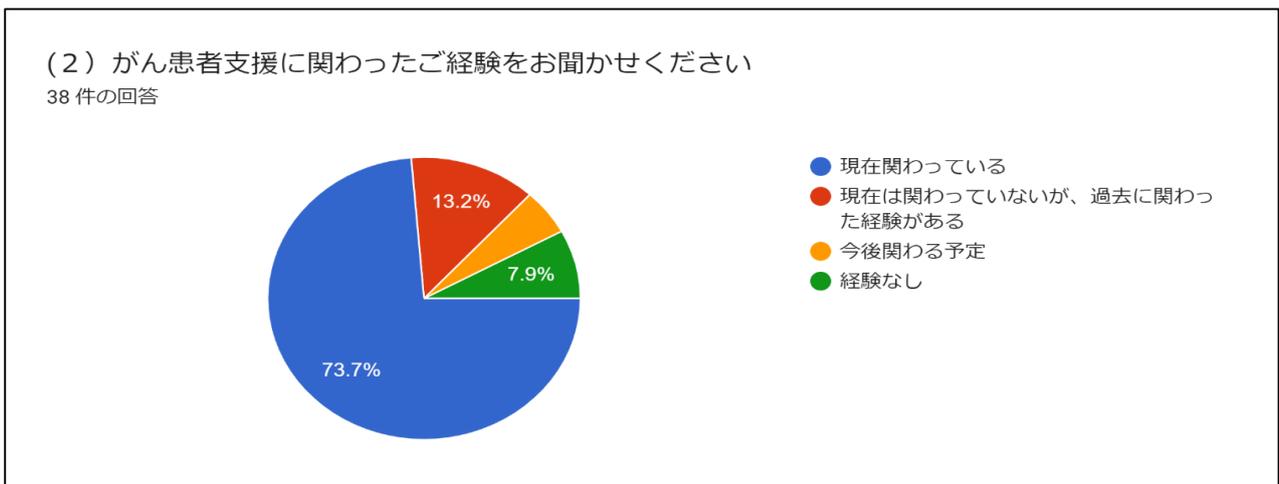
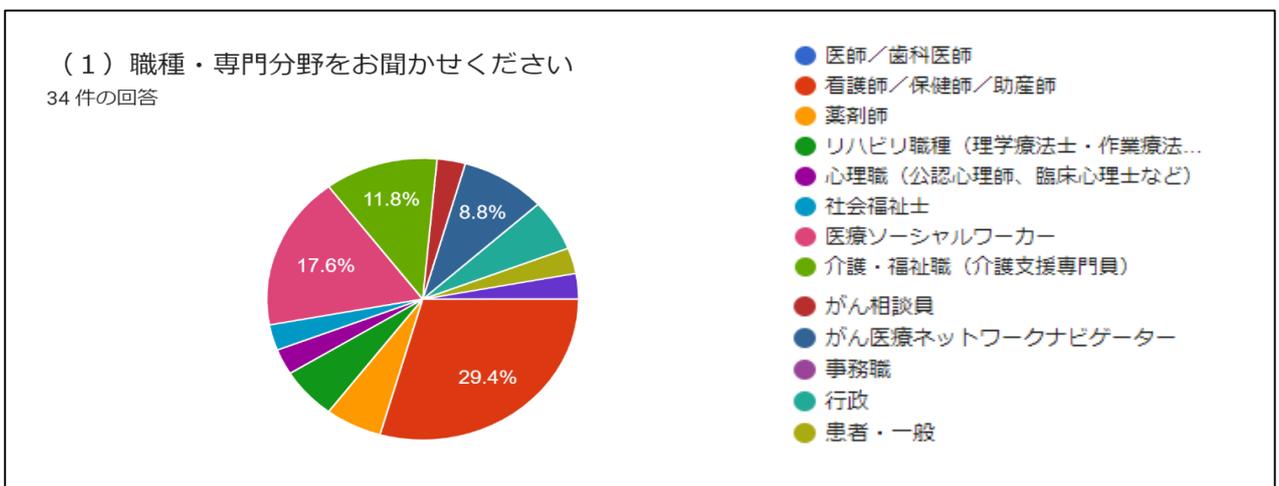
## 3. 診療経験をお選びください



#### 4. 職種をお聞かせください

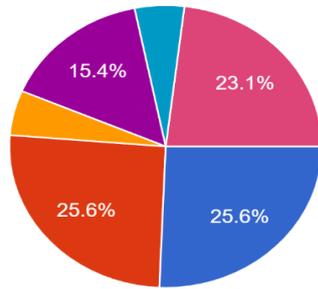


#### 5. 上記で医療関係者および福祉・介護関係者にチェックされた方にお尋ねします



## 6. 研修会をどこで知りましたか

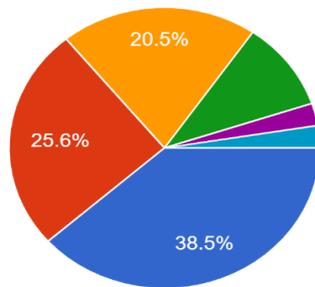
39 件の回答



- 十勝地域のネットワークのメール
- ちらし
- 日本がんサポーターシップケア学会のウェブサイト・メール
- インターネット（がんの在宅療養のサイト）
- インターネット（その他）
- SNS（Facebook/X:Twitterなど）
- 人から聞いた

## 7. がん患者さんにどのくらいの頻度で関わっていますか

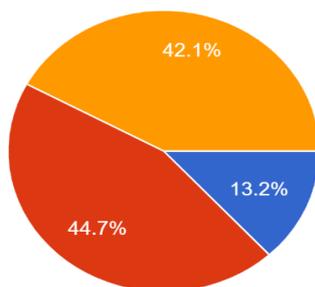
39 件の回答



- 常に（ほぼ毎日関わっている）
- ときどき（週に1回以上関わっている）
- たまに（月に1回以上関わっている）
- ほとんどない
- 1年前までは常に
- 関わっていない

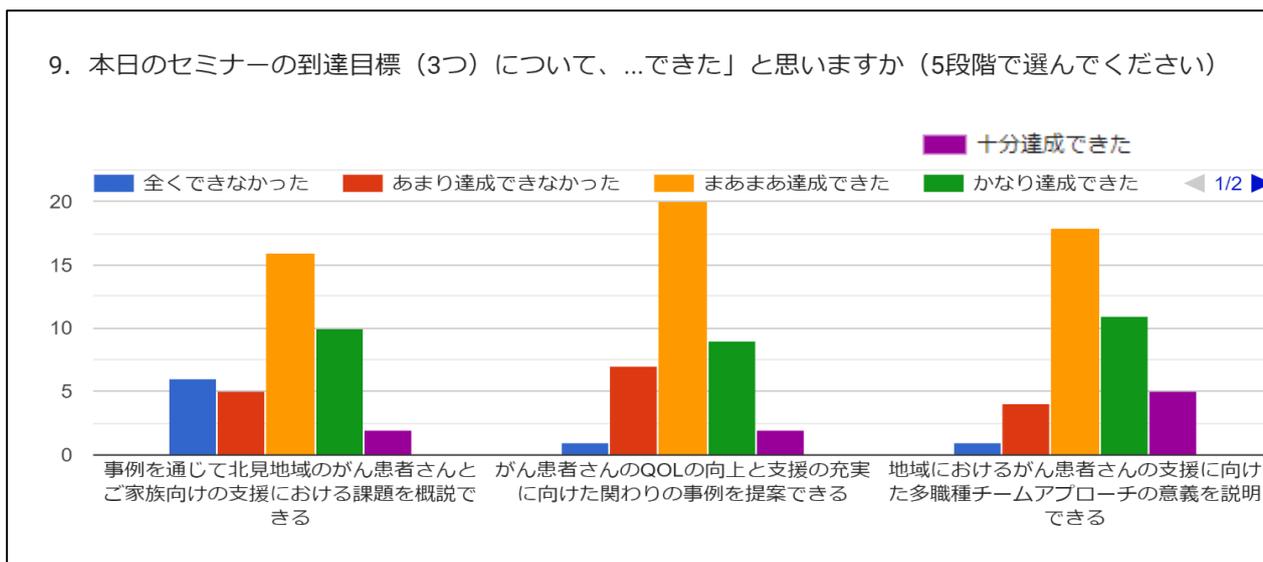
## 8. がん患者さんの支援に関する問い合わせや質問に対応できますか

38 件の回答

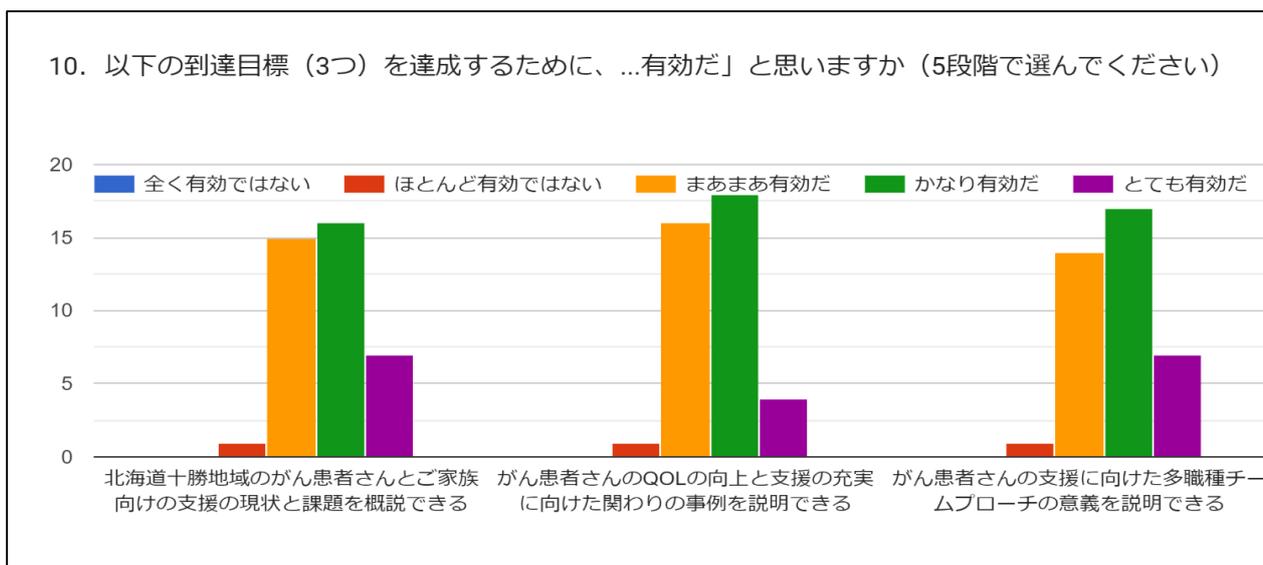


- 自信がある
- やや自信がある
- 自信が無い

9. 本日のセミナーの到達目標（3つ）について、どの程度「達成できた」と思いますか（5段階で選んでください）



10. 以下の到達目標（3つ）を達成するために、このセミナーはどの程度「有効だ」と思いますか（5段階で選んでください）



11. 本日の研修会のご感想、ご意見をお書きください。

現場の方の話を直接聞くことができ良かった、勉強になった(7件)
とても参考になった(2件)
話の内容がわかりやすかった(2件)
多職種連携の必要性を感じた(2件)
人口少数地域だったり急性期でのがんケアなど、自分の病院と違う視点での地域のかかわり方があるのを知れてよかった。
地域の連携がより深まれば良いと思う
地域課題に気付くことができた
各病院の立場からのお話を聞き、それぞれの活動を知ることができ、地域で支えるために各病院の役割や実際を知ることができ大変参考になった。
十勝の訪問診療の横のつながりがみえにくく、どのようなことをしているのわからない現状にありました。今回のこの機会に十勝の訪問診療の現状が見えたように思います。もっと、訪問診療の横のつながりを充実していただき、十勝のがん患者さんの緩和ケアを充実させていただきたいと思いました。大変実りのある機会となりました。ありがとうございました。
オンラインでもグループワークに参加したい
さまざまな立場で診療されている先生達の講演が充実していました。どの先生も他職種を含めたアプローチを基本としており、自分の職種のあり方など(必要とされている感)を感じられ、これからの支援のモチベーションになりました。

12. 「がん患者さんのためのチーム医療と地域連携の推進」に向けたご提案をお書きください、今後の企画の参考にさせていただきます。

このような勉強会(研修会)の定期的な開催(4件)
地域連携をすすめていく(2件)
ICTネットワークの利用方法やメリットデメリットを詳細に知りたい。
チーム医療や連携推進の前に、医療者側の「患者力」と患者側の「患者力」について掘り下げてみてほしいと思います。
現場間の垣根を超えた交流の必要性を感じました。
地域差がとてもあるように思います。その地域ならではの取り組みをぜひお聞かせ頂きたいです。
がん患者さんのための～ならば、患者家族・市民も参加できるセミナーで、一緒にディスカッションが出来る企画であってほしい。
十勝管内市町村の訪問診療や訪問看護など体制状況の情報共有できれば病院と住んでる街をつなぎやすいと思います。